

平成 29 年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 加太中学校
校長氏名	神 崎 信 彦
作成日	平成 30 年 2 月 1 日

1 教育目標

高い知性、豊かな情操、強い意志のある生徒の育成

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>(1) 地域が主催する祭事や清掃活動に積極的に参加し帰属意識を高める。また地域におけるボランティア活動を推進する。</p> <p>(2) ホームページの積極的に活用する。</p> <p>(3) 学校開放月間を充実させ、地域との連携を図る。</p> <p>(4) 防災意識・防災訓練の充実をはかる。(地域・関係機関が一体となった津波避難訓練を実施する。)</p> <p>(5) 小学校・中学校の連携を継続する。</p>	<p>(1) 学校行事や体験学習の充実をはかる。</p> <p>(2) 生徒指導の充実を努める。</p> <p>(3) 生徒の規範意識を高める。</p> <p>(4) 豊かな体験活動の充実をはかる。</p> <p>(5) 道徳教育の充実を努める。</p> <p>(6) 特別支援教育を充実させる。</p> <p>(7) 人権教育を積極的に推進する。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣と学習規律を確立する。</p> <p>(2) 魅力ある授業を行うため、工夫を行い、基礎基本の定着を図る。</p> <p>(3) 自ら学ぶ意欲を育て、考え、教え合う力、聞き合う習慣を育む。</p> <p>(4) 朝学や放課後の補充学習を充実させ学力向上を図る。</p> <p>(5) 「うちどく」(読書活動)の推進に努める。</p> <p>(6) 授業時間の確保に努める。</p> <p>(7) 明るく健康で気力溢れる体力の育成に努める。</p>
取組の状況【D】	<p>(1) 加太海岸の清掃活動に全校生徒で取り組めた。また、ふるさと誕生日の県下一斉ボランティア清掃活動にも参加した。</p> <p>(2) 学校での教育活動について、ホームページで継続的に発信をおこなった。</p> <p>(3) 学校開放月間では、ミニ体育大会、学習発表会、創立70周年記念行事やマラソン大会、幼小中合同避難訓練等を実施した。</p>	<p>(1) 体験活動や地域の伝統文化に触れることにより、地域の一員としての自覚をうながす。</p> <p>(2) 道徳教育を中心に、礼儀や規則を守り、規則正しい生活習慣の定着を図る。</p> <p>(3) 地域の各事業所のご協力により、職場体験学習を、2年生は2日間、1・3年生は1日実施し、3年間で5日間行った。</p>	<p>(1) 全国学力学習状況調査の分析結果を参考に課題を明確にした。各教科担当を中心に単元の定着率の向上を図るため反復練習問題や振り返りの単元テスト等を行った。</p> <p>(2) 放課後に学習室や職員室前学習コーナーを活用しての補充学習を実施し、学力の定着をはかった。</p> <p>(3) 常に時刻を守り、「チャイム始業」が定着している。</p>
(評価結果【C】) 取組の成果と課題	<p>(1) 朝のあいさつ運動が定着できた。</p> <p>(2) 地域へのボランティア活動に積極的に参加が来ている。</p> <p>(3) 観光協会・漁協などの地域の方々が積極的に学校行事に関わっていただけなので、学校行事や体験学習が充実している。</p> <p>(4) 地域活動にも積極的に参加できた。</p>	<p>(1) 朝の「読書タイム」を取り入れ、豊かな感性と考える力を育むことができた。</p> <p>(2) 朝のあいさつ運動では地域の方々と気軽に挨拶を交わすことが来ている。また、日常も挨拶の習慣が身につけている。</p> <p>(3) 職場体験活動をとおして、職業というものを真剣に考える機会が得られ、貴重な経験となっている。</p>	<p>(1) 目標を明確にすることにより、一人一人が、自覚を持って取り組むことができた。また生徒間での教え合い学習、学びの共同体としての活動も定着している。</p> <p>(2) さらに生徒が興味を持ち、主体的で楽しくわかる授業の工夫が必要である。</p> <p>(3) 基礎基本の定着が図れるように、常に継続した取り組みが必要である。</p>
改善方法【A】 次年度に向けての	<p>(1) 学校行事がさらに充実できるように、地域関係団体との連携を深めるようにする。</p> <p>(2) 地域防災教育の充実をはかる。</p> <p>(3) 小中連携(合同の学校行事、授業参観、交流授業等)の充実をはかる。</p> <p>(4) 出前授業をより充実させる。</p> <p>(5) 学校運営協議会を設置し、『コミュニティ・スクール』として地域と共にある学校をめざす。</p>	<p>(1) 少人数化にともない、より体験学習を活性化させる。</p> <p>(2) 小学校・地域・家庭と連携した市民性の育成をはかる。</p> <p>(3) 地域の伝統的・文化的行事(渡御祭、季節の祭り)に積極的に参加し、さらに地域との連携を深める。</p> <p>(4) 加太地区内の事業所に今後もご支援を頂き、職場体験をより充実させたい。</p>	<p>(1) 全国学力学習状況調査や県学習到達度調査の分析結果を参考に課題を明確にし、各教科担当を中心に単元の定着率の向上を図る。</p> <p>(2) 少人数学習の長所を生かし、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。</p> <p>(3) 休業中の補習学習の定着および工夫をおこなう。</p>

3 その他の課題

- (1) 少子高齢化に伴う生徒数の激減に対応し、少人数指導の短所を克服し、長所を生かした指導の研究に努めたい。
- (2) 加太小学校・加太幼稚園との連携をより一層強めたい。
- (3) 今年度から始まった東京都港区立赤坂中学校との交流を生かし、体験活動をとおし、生徒の視野を広げたい。